
株主の皆さまへ

平成19年7月



株式会社九州親和ホールディングス

株主の皆さまへ

平素より当社ならびに親和銀行に対し、格別のご支援を賜り、厚く御礼申しあげます。また、このたびの経営統合に向けた当社の決定により、株主の皆さまに大変ご迷惑をおかけいたしますことを、心よりお詫びを申しあげます。

さて、当社は、平成19年5月24日に公表いたしました「経営支援に係る基本合意」に基づき、本年7月3日に、ふくおかフィナンシャルグループに対して当社が所有する親和銀行としんわディーシーカードの株式を譲渡する契約を締結いたしました。

また、同日付で次期頭取候補として、ふくおかフィナンシャルグループ取締役である鬼木和夫氏(前福岡銀行取締役副頭取)を親和銀行顧問として招聘し、新生親和銀行の経営体制の構築と現体制からの切れ目のない移行を図っていく方針です。

今後の経営統合に向けたスケジュールにつきましては、本年9月7日までに親和銀行株式等の譲渡ならびに当社の解散を議案とする臨時株主総会を開催し、これらの議案のご承認を条件として、本年10月1日以降に親和銀行はふくおかフィナンシャルグループの完全子会社となり経営統合する予定です。なお、当社は臨時株主総会における解散決議を経て、清算手続きを開始する予定です。

このたびの経営統合により、今後、親和銀行は地域の皆さまに十分な金融サービスを提供できる経営体制を確立し、これまで以上に地域金融システムの安定化および地域経済の活性化に貢献してまいりたいと存じます。

株主の皆さまにおかれましては、当社グループの現状をご賢察賜り、ふくおかフィナンシャルグループとの経営統合につきまして、何とぞご理解いただきますようお願い申しあげます。

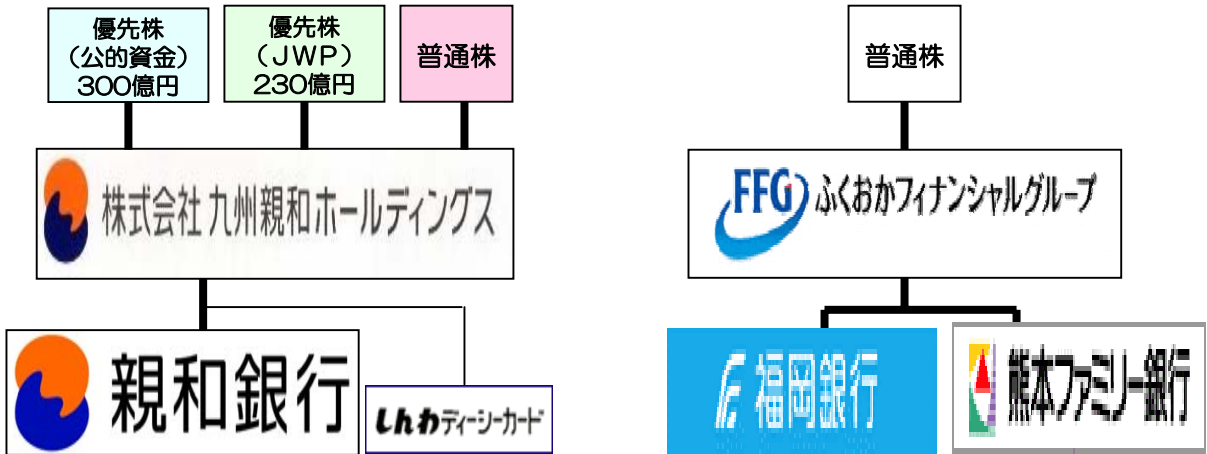
株式会社 九州親和ホールディングス

代表取締役社長 荒木 隆繁



統合スキーム① (イメージ)

現状

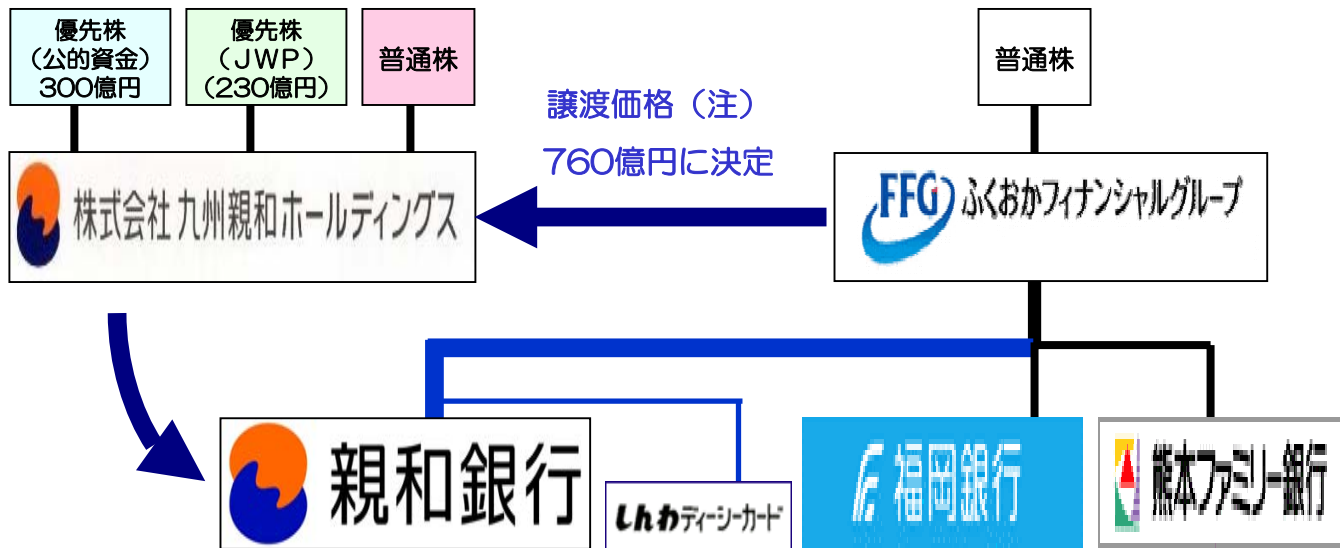


九州親和ホールディングス B/Sイメージ

株式 親和BK しんわDC	優先株 (300)
	優先株 (230)
	普通株

※簡略化のため九州親和ホールディングス保有の親和銀行株およびしんわDC株以外の資産はないものとして表示しております。

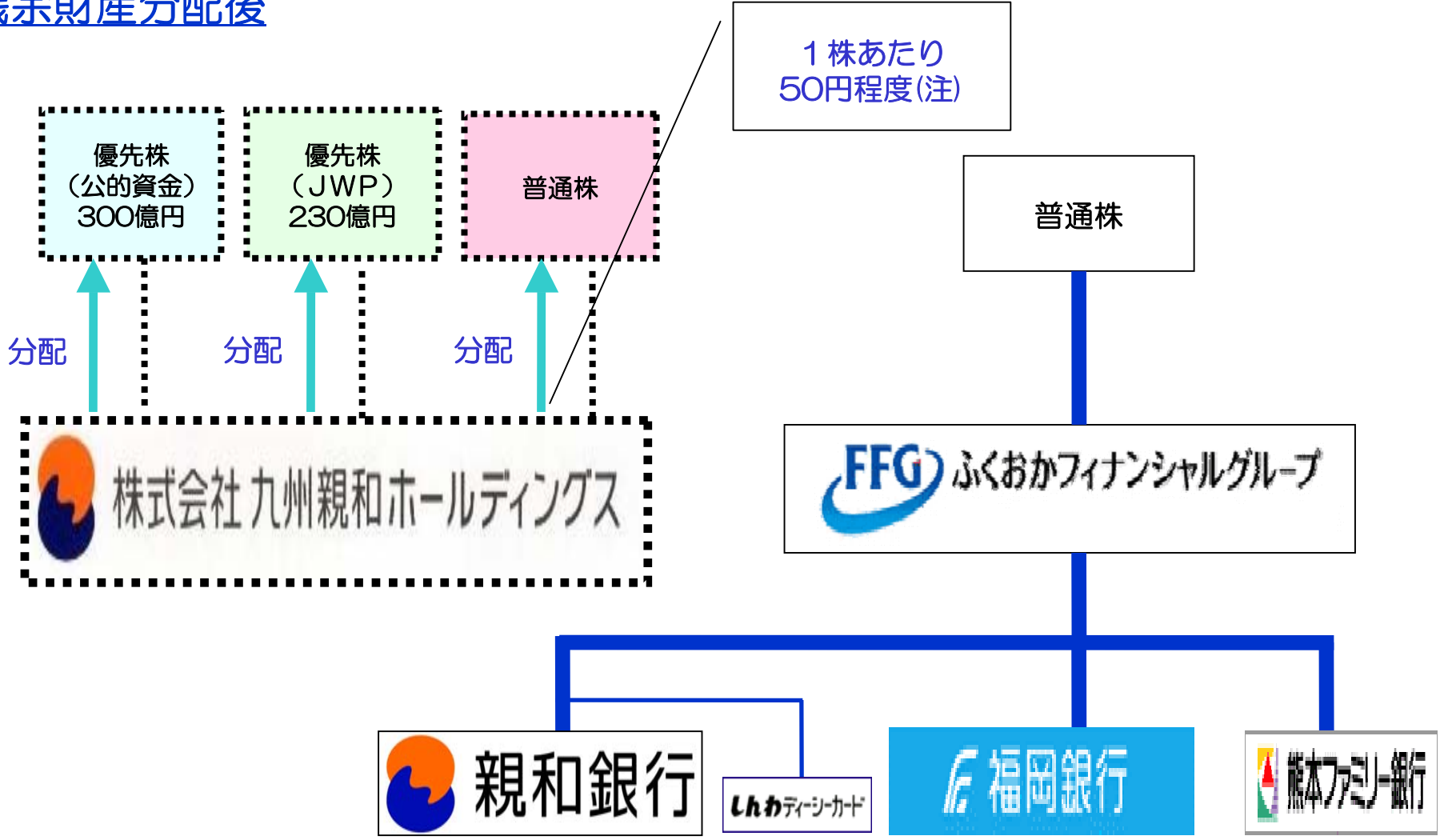
統合後 (19.10.1以降)



現金	優先株 (300)
	優先株 (230)
	普通株

(注1) しんわDCカード株式は、本株式譲渡契約に基づく株式譲渡の実行に先立ち、本譲渡価額と同額の86百万円で当社が親和銀行へ譲渡することができることとし、その場合、本株式譲渡契約に基づく株式譲渡の実行日において当社がふくおかFGへ直接譲渡する株式は、親和銀行株式のみとなります。
 (注2) 当社は、譲渡価格の決定に際して、第三者機関であるアビームM&Aコンサルティング株式会社より当社にとって財務的見地から妥当である旨の意見書及び株主価値算定報告書を手に入るとともに、第三者機関であるデロイトトーマツFAS株式会社からも株式価値算定報告書を手に入れました。当社は、上記の意見書及び報告書を踏まえ、本譲渡価格が妥当であると判断いたしました。

残余財産分配後

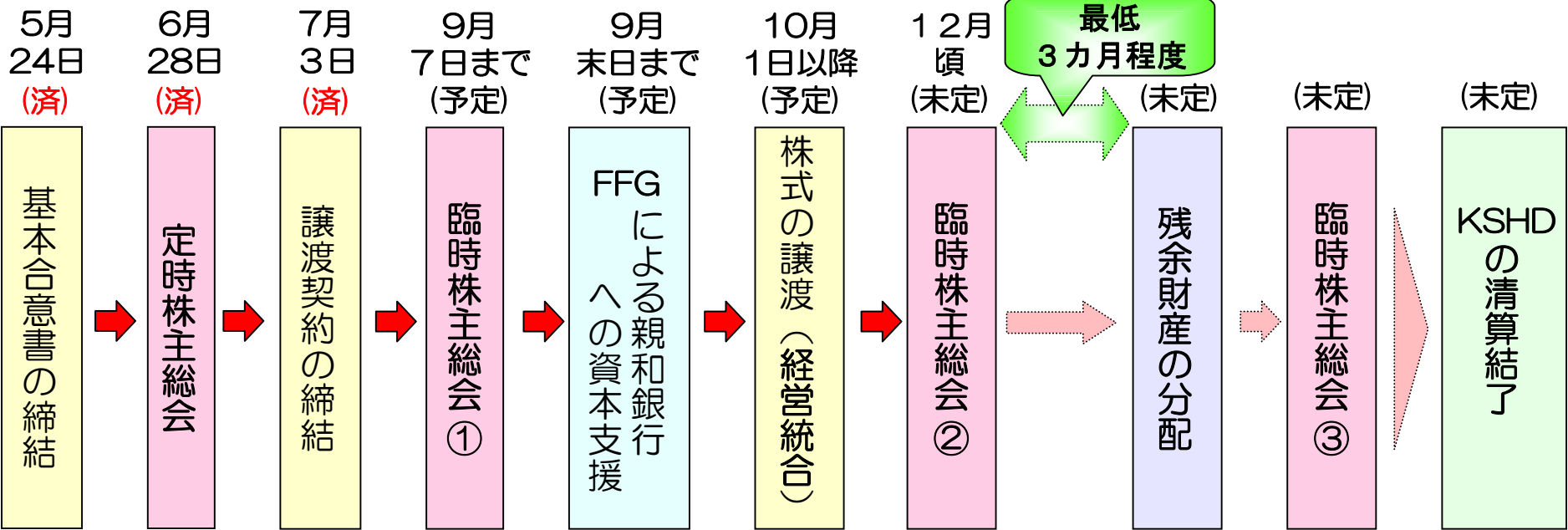


(注) 普通株1株あたりの分配予想額は、残余財産（本株式譲渡額の760億円を含む最終的なKSHDの財産）を対象として分配されることとなりますので、手続きが順調に進めば、1株あたり50円をやや上回る程度の金額になる見込みです。なお、残余財産は、清算手続きに入ってから確定するため、実際の分配額は、1株あたりの分配予想額と異なる可能性があります。

今後のスケジュール（予定）

2007年

2008年



※FFG=ふくおかフィナンシャルグループ

※KSHD=九州親和ホールディングス

- ・減資等
- ・取締役選任

- ・株式譲渡
- ・解散 等

- ・解散日における財産目録及び貸借対照表の承認

- ・決算報告の承認

※①の開催時期については8月下旬または9月上旬を予定

※解散日は臨時株主総会①において決定される予定

今回の経営統合の実行は、九州親和ホールディングスの株主総会における承認、および関係当局の認可を条件としております。また、手続き上、やむを得ない事由が生じた場合は、日程を変更する場合があります。なお、上記の臨時株主総会①以降の日程については、詳細が決定次第、お知らせいたします。